

アジア選手権大会 日本代表

自転車競技部

金メダル獲得!



四宮君

岡本君



○団体種目：4kmチーム・パーシュート

記録：4分17秒298

四宮寛人(2年) 岡本勝哉(1年) 金メダル 獲得!!

2019年1月8日(火)～1月12日(土)にインドネシア・ジャカルタにてトラックアジア自転車競技選手権大会が開催されました。

ジュニア男子チーム・パーシュートに四宮寛人(北桑田)・岡本勝哉(北桑田)・高橋舜(宮城・東北高等学校)・生野優翔(大分・日出総合高等学校)の4名が出場しました。本校から日本代表選手として歴代8、9人目の快挙です。

決勝の対戦相手はカザフスタンチームでした。レース序盤は日本がリードしていましたが、中盤でカザフスタンに逆転をされてしまいます。ただ、終盤でペースを持ち直して再逆転し**0.344秒差で金メダルを獲得しました!**

○個人種目

四宮寛人 3kmインティヴィチュアル・パーシュート 3分33秒291 第4位

岡本勝哉 スクラッチ 決勝 第7位

今後、2人の益々の活躍に期待です!

女子日本代表強化指定選手に石田唯(1年)が選出!

女子日本代表強化指定選手として日本代表合宿に参加します。また、4月にウズベキスタンで行われる2019ロードアジア選手権の出場に向けて練習に励んでいます!

クライミング(ボルダリング)施設完成



地域や同窓生からの支援金を活用させていただき、クライミング施設が完成しました。地域関係者の方や行政関係者の方に対し施設完成披露会を1月18日(金)に開催しました。クライミングジュニアナショナルチームコーチ兼国体京都府チームコーチである奥井健吾氏に、施設設備解説およびデモステレーションを行っていただきました。

ボルダリングとは?

東京五輪で追加競技となった、3種目複合で競うスポーツクライミングのうちの1種目。ロープを使わず高さ3～5mの人工壁で行う。初級から上級まで難易度ごとにルートを設定し、同じ色のホールドやテープに従って登り、ゴールのホールドを両手で掴むと「完登」となる。設定された複数のコースを時間内にいくつ登り切れたか、その数で順位を決める。他の速さを競う「スピード」登った高さを競う「リード」があるが、難易度や強度、不安定度がどの種目よりも高いこと、また屋内ででき、腕の筋力だけでなく全身をうまく使うことでチャレンジできることから老若男女問わず最も人気が高い。